

2015年度 人権啓発作品 入賞者と最優秀作品をご紹介します

市民のみなさんから人権作品を募集したところ、たくさんのご応募をいただきありがとうございます。どの作品にもふれあいの心、いたわりの心があふれ、相手の立場を考えた素晴らしい作品ばかりでした。

今回は、入賞者のみなさんと最優秀作品をご紹介します。この機会に、改めて人権の大切さについて、地域や家庭で話し合ってみてください。

問 総務部 人権政策課(米原庁舎) ☎52-6629 FAX 52-4539

標語

小学生の部

最優秀 米原小学校4年
高木 乃音さん

「大丈夫？
かけ合う言葉で いじめ0(ゼロ)」

優秀 河南小学校4年
宮山 瑠香さん
伊吹小学校4年
伊賀並 雅人さん

中学生の部

最優秀 柏原中学校3年
藤田 桃佳さん

「気をつけて
言葉の刃(やいば) 向けてない？」

優秀 双葉中学校1年
古澤 心乃さん
伊吹山中学校1年
福永 達也さん

一般の部

最優秀 米原市顔戸
能勢 治さん

「認めあう
心でつなぐ 人と人」

優秀 米原市多和田
樋口 善一郎さん
米原市柏原
斧 八千代さん

男女共同参画社会推進標語

小学生の部

最優秀 河南小学校4年
森 孝祐さん

「男女の差
あるはずないよ いっしょだよ」

優秀 伊吹小学校2年
堀江 翼さん
伊吹小学校2年
堀江 千夏さん

中学生の部

最優秀 伊吹山中学校2年
久保 友理音さん

「したいこと
きめつけないで 性別で」

優秀 米原中学校1年
中溝 凧音さん
伊吹山中学校2年
土屋 志龍さん

一般の部

最優秀 米原市杉澤
樋口 幸子さん

「大切な
あなたに今日も「ありがとう」

優秀 米原市杉澤
樋口 昭さん
米原市多和田
樋口 善一郎さん
米原市宇賀野
森 やす子さん

ポスター

小学生の部

最優秀 米原小学校5年
松田 清楓さん



優秀 春照小学校6年
北川 ひびきさん

優秀 春照小学校6年
常喜 望桜さん

入選 大原小学校4年
堀江 風光さん

入選 山東小学校5年
堀 綾花さん

中学生の部

最優秀 柏原中学校2年
奥井 朋音さん



優秀 双葉中学校2年
児玉 理紗さん

優秀 双葉中学校3年
肥田 美桜さん

入選 柏原中学校1年
植道 のどかさん

入選 柏原中学校3年
岩田 凜さん

作文

小学生の部

最優秀 山東小学校6年

竹岡 竜志さん

優 秀 息長小学校6年

中山 大希さん

入 選 大原小学校5年

居関 杏奈さん

中学生の部

最優秀 双葉中学校2年

児玉 理紗さん

優 秀 柏原中学校1年

植道 のどかさん

入 選 伊吹山中学校3年

伊賀並 愛佳さん

人権作文 小学生の部 最優秀賞

山東小学校6年

竹岡 竜志さん

「人権と戦争」

皆さんは、人権問題と聞
いてどのようなことが思い
浮かびますか。ぼくが真っ
先に思い浮かぶのは、戦争
についてです。

ぼくが初めて、原爆や戦

争の恐ろしさを知ったのは、二年
生のころ、学校の図書館で「はだ
しのゲン」を読んだ時です。

そこには、原爆の熱によって苦
しんでいる人々や、爆風によって
ばらばらになってしまった家やが
れきなど、目をそむけたくなるよ
うな絵がはつきりと描かれていま
した。

ぼくは、この時初めて、「戦争
は、人の命をうばう恐ろしいもの
なんだな。」と、感じました。

それからぼくは、戦争に関心を
持つようになりました。テレビ、
新聞、本など色々なものから戦争
を知りました。特に今年は、戦後
七十年の節目の年なので、テレビ
などで戦争について目にする機会
がたくさんあります。

空襲や特攻隊など、今のぼくに
は、考えられないことが当たり前
のように行われていたことを知
り、とてもおどろきました。

また、戦争体験者のおじいちゃ
んからも戦争中の暮らしや、地域
の様子など色々な話を聞きました
。そして、最後に、「みんなが幸

せになる戦争なんて一つもない。」
と、強い口調で言いました。

ぼくもおじいちゃんと同じで正
しい戦争や良い戦争は、絶対にあ
りえないと思います。

戦争というものは、「自分の意
見が正しい。」という、自分勝手
な心から始まり、国同士や人種の
違う人達の争いへと発展してい
くのだと思います。

そして、その戦争によって個人
の意思も自由も人権までもが失わ
れてしまいます。戦争がなければ
助かったかもしれない尊い命が毎
日消えていったのかと思うと、ぼ
くは、とても悲しい気持ちにな
ります。

今、ぼくたちが何気なく暮らし
ている日々が平和でどれだけ幸せ
なことなのか、戦争を知って改め
て分かりました。そして、たった
一つの自分の命を大切にしなければ
ならないと思いました。

ぼくは、こんな戦争を二度と起
こしてはいけなと思います。
人々の自由をうばう戦争にぼくは
心の底から反対です。

そして、同じ過ちをくり返さな
いたために、少しでも多くの人に戦
争の怖さや恐ろしさを伝えること
が、大切だと思います。ぼく達
は、戦争体験者の方々からお話を
聞くことができる最後の世代と言
われています。実際にぼく達も修
学旅行で戦争についてのお話を聞
きます。そして、学んだり、聞い
たりしたことを、下級生や自分の
子ども達に伝えていきたいです。そ
れが、何十年、何百年経っても、
忘れられないようにして戦争が二
度と起こらないようにしていかな
ければならないと思います。

戦後七十年の今、ぼく達に何が
できるかをしっかりと考えて、こ
れからも戦争について学び、伝え
続けていきたいと思っています。

●人権作文の中学生の部の最優秀
賞は、広報まいばら1月1日号
でご紹介します。

